

学校経営方針

本校児童が、民主的・文化的な日本の形成者として、21世紀に力強く生き、世界平和と人類の福祉に貢献する担い手に成長することを願って、私たちは知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童の育成に努めたい。

教育課程の中で、言語活動の充実がうたわれ、「考える力」「表現する力」をその言語活動を通して身に付けさせたいと考える。教育課程の理念や具体的な取り組みを通して保護者や地域の皆様に信頼され、子どもたちも教職員も認め合い、励まし合いながら高め合う関係を築く力を育て、笑顔あふれる学校を全職員の協働で創り出していきたいと考える。

学校教育目標

根岸小学校教育目標 「かがやく心 かがやく力」

目指す児童像(具体目標)

- か・・・考える子
- が・・・がんばる子
- や・・・やさしい子
- き・・・きたえる子

1、目指す学校の姿

- (1) 子どもにとって、学ぶ喜びに溢れる学校
- (2) 教職員にとって、協働の喜びに溢れる学校
- (3) 保護者・地域にとって、信頼できる学校

〈基本的な考え方〉

☆子どもの成長を教職員の絶えざる自己研鑽で

一人一人の子どものよさを、より豊かに伸ばしていくことが、養育に携わる者の責務である。その際、子どもたちは、学び続ける教職員によってよりよく成長することを自覚して、教育の質的向上を目指す努力を続けたい。そのために、授業研究に力を入れ日々研鑽に努めていきたい。さらに、日々生活する場である学校が、安全で美しく、いじめ、不登校、体罰のない環境であることを徹底したい。

☆信頼関係をすべての教育活動の基盤に据えて

保護者や地域の方々に対しては、共に子どもの成長と幸せを願う立場から、学校としての説明責任を果たすとともに、教育活動に理解・協力・支援をいただきながら常に信頼される学校づくりに努めたい。

2、目指す子どもの姿

- か・・・考える子
- が・・・がんばる子
- や・・・やさしい子
- き・・・きたえる子

○考える子の具体的な姿

- ・自ら進んで学習に取り組む子
- ・自分の目でとらえ、考え、課題解決にあたる子
- ・豊かな創造性をもち、深く考える子
- ・自分の思いを多様な表現方法で表そうとする子
- ・良いこと、悪いことを判断して、行動できる子

○がんばる子の具体的な姿

- ・目当てに向かって、最後までやりとげる子
- ・友だちと仲良く助け合う子
- ・失敗や間違いを乗り越えられる、粘り強い子
- ・当番や清掃活動に進んで取り組む子
- ・分からないことを分からないと言い、分かるようになる努力をする子

○やさしい子の具体的な姿

- ・思いやりをもって、お互いに助け合おうとする子
- ・自他の生命を大切にする子
- ・人の良さや弱みを理解して、互いに認めあえる子
- ・言葉遣いに気をつける子
- ・自分からあいさつができる子

○きたえる子の具体的な姿

- ・自分の心身の状態を知り、自分の健康管理をする子
- ・自分の体力を知り、体力の向上を考えて、努力する子
- ・休まずに元気に登校する子
- ・基本的な生活習慣をきちんと身に付けている子

〈基本的な考え方〉

☆教育目標の達成を目指す組織体としての学校を

教育の成否は教職員の協働の姿勢によるところが大きい。

本校の組織は、教育目標の達成を目指し、社会の要請、子どもの変化、保護者の要望を真摯に受け止め、授業改善のもと、常に創造的に教育力を高め合う「教えるプロ」の集合体でありたい。温かな思いやりに溢れる教職員のよさをよりよく生かし柔軟で協力的な指導体制のもと、子ども一人一人の生きる力を育成する。

3、目指す教師の姿

- 子どもに :「優しく」
美しい言葉遣い、美しい教育環境、質の高い教育環境
- 教職員相互に :「真摯に」
教えるプロとして、協働と互いに高め合う姿勢
- 地域・保護者に :「誠実に」
ていねいな対応、信頼関係の確立
- 自身に :「厳しく」
教育公務員として、自己の健康管理、サービス・勤務の厳正

〈基本的な考え方〉

☆常に子どもとともに在り、成長しつづける姿勢を

常に子どもとともに在る教師、日々、自己啓発に挑戦する教師、人間性豊かな教師であることに努力したい。また自己観察書の作成を通して、教師としての目標を設定し、その実現に向け見通しを立てて、資質の向上に努める。

☆教育公務員としての誇りと責任を

次代を担う子どもたちをはぐくむ仕事に誇りを持ち、教育課題の克服や改善に努める。

教職員一人一人が子どもにとっての教育環境であることから、自己啓発とともに、言葉遣い、身だしなみ等の言動に注意し、会議の効率化、時間や締切の厳守、公費の有効、適切な管理や執行を行う。

4、今年度の重点目標

(1) 授業改善を通して「考える力・表現する力」の育成と学力の向上を図る。

- ①学習意欲の向上
 - ・学習習慣の定着と共有化
 - ・学習規律の定着と共有化
- ②考える力・表現する力の育成
 - ・言語活動の充実
 - ・体験的学習の充実
 - ・問題解決型学習の充実
 - ・繰り返し学習の徹底
- ③支援教育の充実
 - ・児童理解と個々のニーズに応じた支援
 - ・支援体制の整備と関係諸機関との連携
- ④地域の人材・教材の活用
 - ・実感を伴う学びや生活に生かす力を身につける



(2) 豊かな心の育成を図る

- ①人との関わり合いを大切にして、認め合い高め合う関係づくり
 - ・お互いを尊重し、認め合い、高め合う学級づくり
- ②道徳・特別活動等の充実とあらゆる教育活動における心の教育
- ③あいさつのできる子の育成
 - ・笑顔で挨拶し、しっかり返事ができる子の育成
- ④体験活動の充実
 - ・福祉学習の推進
- ⑤読書活動の充実
 - ・読書タイム及び学校司書・司書教諭を中心とした図書館利用の充実

(3) 健康に関心をもち、運動に親しむ子を育成する

- ①自分の心身の状態を知り、自分の健康管理ができる子の育成
- ②自分の体力を知り、体力の向上を考えて努力する子の育成
- ③休まずに元気に登校する子の育成
- ④基本的生活習慣を身に付けた子の育成

5、学校運営方針

- ①常に自己の健康管理に留意し、十分な気力と体力で、明るくおだやかに子どもに接する。
- ②教師としての力量を高めるため、謙虚に自己変革や意識改革に努め、進んで研修に励み、授業力の蓄積と向上に努める。
- ③人権同和教育・特別支援教育・在日外国人に関わる教育への理解を深め教師自らの人権意識を高める。そして、一人一人の子ども理解に努め、公正で慈愛に満ちた教育実践を行う。
- ④広い視野を持ち、相互理解と信頼感に満ちた協力体制による学校運営を行い、学校経営方針や学年経営方針を保護者・地域に伝え、保護者・地域との連携を深め理解と協力を得ると共に、地域や保護者の声を学校評価の資料として生かすようにする。
- ⑤地域の学習素材の教材化や地域の教育力の活用等、教材研究を深め、広げると共に情報活用能力の向上を目指し、互いに指導力の向上に努める。
- ⑥安全で豊かな教育環境整備に努め、子どもの自己実現を支援する教室や校舎内外の学習環境の整備充実に努める。
- ⑦健康・安全教育を徹底し、命の大切さや健康の保持・増進、事故防止の能力・態度の育成に努める。
- ⑧教育活動全般の「PDCA」を徹底し、次の教育活動への展望を持ち、学校改善に生かす学校評価を行う。同時に校務分掌の機能の活性化と効率化を図り、教職員一人ひとりの特性を生かした活力ある学校づくりに努める。
- ⑨HPの更新や学校だより等を活用し積極的に情報発信に努める。

